

稻毛海浜公園自然観察会

木の実や葉っぱで遊ぼう！

南 俊哉(千葉市)

日 時：2024年11月23日(土)10:00～12:00 気温 14°C

場 所：稻毛海浜公園(千葉市)

参加者：12名(大人5名、子ども7名)

指導員：中田・萩・平田・南・伊藤(事務局)

晴天に恵まれ、さわやかな時間を過ごせました。12名でしたので班分けせずスタート。集合場所からすぐ、アメリカセンダングサの種、いわゆる「ひつつきむし」で心をひきつけ、常緑樹の林の中に入るとツバキのタネを発見。種の形が面白い！シロダモ、ヤブニッケイの丸い実を観察。葉をもむとおいがしました。子どもたちは「いいにおい～！」と素晴らしい反応。クスノキも似た香りがして、クスノキ3兄弟で一す、なんてね。ウバメガシは海風に耐えるために丈夫で、備長炭に使われる硬い木です。と指導員の説明。ヘクソカズラの小さな丸い実がたくさん。葉をもむとおいがしました。このにおいが名前の由来と説明。タンキリマメは、赤いさやが割れたところに黒い実がついていて特徴的でした。大人の方が「おもしろい」と感動されました。先へ進むとまたにおいが。ハマヒサカキのガスのようなにおい。トベラも海岸ならではの植物で大きな実が割れて赤い種が見えました。ねばねばして、ひつつきやすい！ネズミモチの名前の由来は、熟した黒い小さな実がネズミの糞に似ていること。アオギリの実は特徴的で落ちる時に風にあおられてくるくる回りながら飛んでいる様子を子どもたちが体感できました。マテバシイとスダジイとウバメガシのドングリを拾い、形の違いを観察できました。

後半は事務所の部屋で、拾ってきた木の実や葉っぱを使って工作タイム！まずは木の実図鑑。厚紙に実や葉を貼りつけて名前がわかるようにしました。紙の端にクスノキの葉を付けて虫よけをしている子どもも。次に、ステンドグラス作り。黒画用紙を切り抜いた部分に紅葉した葉っぱを貼って作りました。皆さんのオリジナリティが光り、素敵な作品が出来ました。子どもたちからは「おもしろかった！」、「たのしかった！」大人の方からは「子どもが楽しそうにしていた」「名前を知ることができる貴重な機会でした」「どんぐりの種類が色々あるのを知らなかった」「勉強になった、調べたいと思った」とうれしい感想を頂きました。実・葉の形・色を見て、触って、葉・花のにおいを感じ、五感で植物を感じて覚えてもらえると嬉しいと思いました。

＜観察した生き物(五十音順)＞アオギリ、アカメガシワ、アキニレ、アメリカセンダングサ、

ウバメガシ、クスノキ、クロガネモチ、シロダモ、スダジイ、タンキリマメ、ツバキ、トベラ、ネズミモチ、ハマヒサカキ、ヘクソカズラ、マテバシイ、ヤブニッケイ、など



クイズできたかな



シロダモの実の観察



工作タイム！

